

腹腔鏡下で子宮頸部の手術を受けられる

説明医師

様へ
















説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日(前日入院)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目
目標	手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる		創部からの多量の出血がない ドレーンからの出血が少量である 悪心、嘔吐を認めない 腸蠕動音が聴取できる 血栓・塞栓症状がない		排ガスがある 早期離床ができる
検査	身長体重を測ります			 採血と尿の検査があります	
食事	21時以降絶飲食です *ただし、医師からOS-1の飲水許可があれば医師指示許可時間まで飲水していただけます	 絶飲食です		昼食から全粥食となります	朝食から常食となります
	朝食は 自宅で  			 	  
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します お臍の処置と剃毛を行います 就寝前に浣腸をします  リストバンドを装着します	 午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します  点滴用の針を挿入します	 術後酸素マスクがついています  術後は体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を頻回に測定します	 医師の確認にて、歩行できます	 創の確認を行います
	点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  腸のガスを少なくする薬を服用します  就寝前に下剤を服用します	 午後の手術でOS-1の指示のない方は午前中から点滴があります	 手術後の点滴があります <i>*痛み・むかつきなどがあれば看護師に申し出てください</i>	 点滴が朝、夕にあります  血栓予防の注射をします
行動	弾性ストッキングのサイズを合わせます  制限ありません  シャワーできます オムツ・ナプキンをお預かりします	 洗面後、手術着に着替え弾性ストッキングをはいてください	 床上安静となります <i>*膝の曲げ伸ばし、足首の運動は行ってください</i>	 座位ができます  可能なら午後より歩行できます  全身を清拭します タオル2枚を用意してください	 歩行できます
	説明	 医師より説明 ・手術と治療計画について  麻酔科医師より説明 ・麻酔について  看護師、手術室看護師より説明 ・入院生活について ・手術中の体位について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 看護師より説明(家人の方に) ・手術室の場所と入室方法について		 看護師より説明 ・早期離床について

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	術後 3 日目	術後 4 日目	術後 5 日目	術後 6 日目	退院日 術後 7 日目
目標	排便がある リンパ浮腫について理解ができる 排尿時痛、残尿感、発熱がみられない				退院後の生活上の 注意点が理解できる
検査	 採血があります			 採血があります	採血・診察の結果 問題なければ朝食後 退院となります
食事	  	  	  	  	
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を 測定します 医師によりドレーンの 排液量に応じ適時管を 抜きます 尿の管を抜きます			 診察があります	 退院時にリストバンド を外します
点滴・内服	 血栓予防の 注射をします				
行動	 腹部の管が抜け 発熱がなければ シャワーが できます 入院中は入浴できません  腹部に管のある方 は 全身清拭をします		 シャワーが できます		
説明	 看護師より説明 ・リンパ浮腫について				 医師より説明 ・退院後の 治療について  看護師より説明 ・退院後の療養 生活について

